［別記様式一］（第２条関係）（Ａ４判縦、横書き）

| 受理年月日 | 平成　年　月　日 |
|---|---|
| 整理番号 | 番 |

# 接収刀剣類返還請求書

文化庁長官　殿

住　所
請求者　氏　名　　印
生年月日　　年　月　日生
連絡先の電話　（　）

接収刀剣類の処理に関する法律第３条の規定により，次のとおり接収刀剣類の返還を請求します。

| 事項 | | 申請内容 |
|---|---|---|
| １返還の請求をする刀剣類等 | | 官報公示の番号　番 |
| 刀剣類の特徴等 | 種類 | 刀　太刀　脇差　短刀　なぎなた　やり　剣 |
| | 形状 | |
| | 銘文 | |
| | 反り | |
| | 目釘孔 | |
| | 彫り物 | |
| | 茎尻 | |
| | その他重要な特徴 | |
| | 接収された場所 | 都道<br>府県 |
| ２返還請求者が被接収者本人でない場合にはその続柄等 | | |
| 備考 | | |

〔備考〕

1．　この返還請求書は，返還を請求する刀剣類ごとに作成すること。

2．　被接収者の包括承継人が返還の請求をする場合において，当該包括承継人が複数人ある時（相続人が複数人ある場合など）は，代表者が返還請求書を提出すること。この場合には，他の包括承継人の委任状を提出すること。

3．　「印」は，第２条第２号の印鑑証明書と同一の印鑑を押印すること。

4．　１の記載欄には，官報に公示された番号を記入すること。

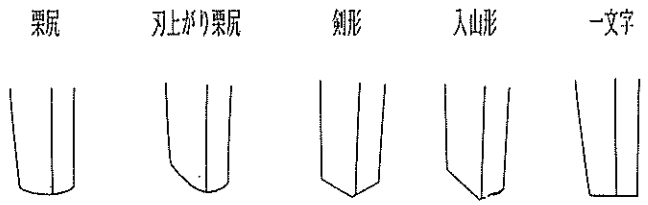
5．　種類は，該当箇所を「○」で囲むこと。

6．　形状は，長さ（棟区から切先までの先端を直線で測った長さ）を必ず記入することとし，その他造込み，棟，切先，鍛え，刃文等の特徴を記入すること。

7．　反りの具合は，反り深い，反り浅い，反り無し等と記入すること。

8．　目釘孔は，孔の数とその孔の位置を記入すること。

9．　茎尻の切り方は，次のように区別して記入すること。




10．　その他重要な特徴については，生ぶ茎，区送り茎，磨上げ茎，大磨上げ茎，疵等を具体的に記入すること。

11．　写真，押形等を添付した場合は，備考欄にその旨を記入すること。